

科目名	人間教育の理論と実践	担当/伊東亨采・金森康衣	得点
1年	クラス NO	氏名	/ 100

[1] 「釈尊の生涯」について下記の語群より適切な語句を選び、空欄を埋めなさい。(2×14)

<釈尊誕生> () = 4月8日 (はなまつり)

釈尊は約二千数百年前、北 () のカピラバースツ国シュッドーダナ (浄飯王) とマヤー (摩耶夫人) の間に生まれ、名を () と名付けられました。

太子の生後7日目に、マヤー夫人は亡くなられ、妃の () マハー・プラジャーパティ (摩訶波闍波提) に育てられました。

<四門出遊> ^{しもんしゅつゆう} 29歳の時出家 そのきっかけとなるエピソード

ある日太子が郊外に出かけようと () 門をくぐると、老人に会い、南門から外出したとき病人を見た。() 門から出たとき死者を送る葬儀の列に出くわす。《生きていることは苦である。人は何のために生まれてきたのだろう》人間が根本的に持つ苦 () について考えるようになった太子が () 門から出かけたとき、すがすがしさを漂わせた沙門 (出家僧) に出会い、出家の決意をする。(=「大いなる放棄」) 父、継母、()、地位、財産すべてを捨てて沙門となり、そのおかげで仏教が生まれる。

<成道> ^{じょうどう} 成道会 = 12月 () 日 ^{みょうじょう} 明けの明星の輝くとき悟りを開かれた

6年の苦行の後、肉体を苦しめることは、かえって () に心がとられることになるという気づきから、() の下に静かに座り、深い瞑想に入られた。「表面の現象を見るのではなく、万物の本当の姿、すなわち実相を見通され、() = 無常」を悟られた。

<初転法輪と布教のご生涯> ^{しよてんぽうりん}

仏陀 (真理を悟った人) となられた釈尊は、この教えをどう説いたらよいかと思案され、一人ひとりの生活環境や理解力に応じて説く () ことで、人々を真の生き方に目覚めさせようとした。

このご布教は、成道後40余年間、足の裏が板のようになるほど、息を引き取られる直前まで続けられた。

そして80年生涯を終えられた。(涅槃会 = 2月15日) ^{ねはんえ}

<語群>

*妻子 *宇宙を貫く絶対の真理 *無常 *降誕会 *誕生会 *シッダールタ *東 *西 *北 *妹 *死人 *姉 *僧侶 *病人 *老人 *楽 *苦 *方便 *実相 *8 *7 *布教 *菩提樹 *肉体 *煩惱 *インド *生・老・病・死

[2] 下記の語群より適切な語句を選び、空欄を埋めなさい。同じ言葉を何回書いてもかまいません。(1×8)

釈尊は、「この [] とはどんなものか。人間とはどんなものか。だから、人間は [] にどう生きべきか。人間どうしの [] はどうあらねばならないのか」ということなどについて、長い間考えに考えぬき、そして [] 「だれにも」当てはまる「普通の [] に達せられたのです。「 [] 、 [] 、だれにも当てはまること」が、そうむずかしいものであるはずはありません。<語群>

・社会 ・世界 ・いつでも ・日常的 ・個人 ・どこでも ・真理 ・無常 ・人生 ・法華経 ・全体 ・人間 ・この世
<法華経の新しい解釈「はじめに」より抜粋>

[3] 「法華三部経の成り立ち」で学んだ法華三部経の名称を漢字で書きなさい (3×2)

「 _____ 経」 「 _____ 経」 「 _____ 経」

[4] 次の文は『経典』に学ぶ 釈尊のいぶきより引用した「三帰依」です。それぞれの問いに適切な答えを書きなさい。

経文

自ら (①) に④帰依し奉る

当に願わくは衆生と共に 大道を体解して無上意を發さん

自ら (②) に④帰依し奉る

当に願わくは衆生と共に 深く経藏に入って智慧海の如くならん

自ら (③) に④帰依し奉る

当に願わくは衆生と共に 大衆を統理して一切無礙ならん

(1) 「三帰依」の「三」とは、何を意味していますか。(1×3)

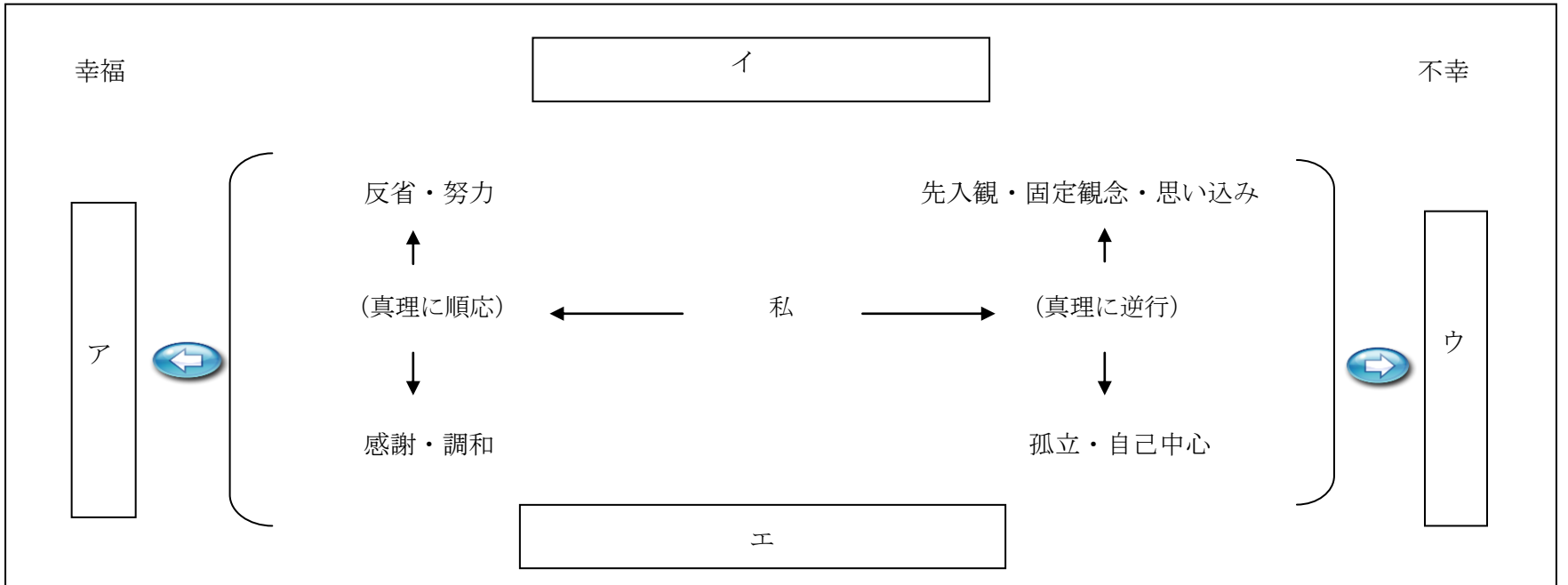
① () ② () ③ ()

(2) アンダーラインの部分の説明しなさい。

③とは、どのような意味ですか。(2)

④の帰依の意味を説明しなさい。(2)

(3) 真理を理解するために、次の表のア～エに入る適切な語句を下の () に書きなさい (2×4)



ア () イ () ウ () エ ()

[5] 「四諦」とは「どうしたら日常生活において直面する苦しみや悩みを根本的に解決して、絶対安穩の境地を得られるかをお教えになった法門」です。(①) 諦 (現状)・(②) 諦 (原因)・(③) 諦 (夢・目標)・(④) 諦 (努力・実行) を参考にして、今のあなたが気にかかっていることを具体例としてとりあげ、あなた自身の実践に結びつけられるまでのプロセスを、下記の表を用いて書き表しなさい

(1×4) + (2×4)

③ () 諦

① () 諦

④ () 諦

② () 諦

[6] 私たちが実践させていただく具体的な行として、八正道と六波羅蜜を教えてくださいました。八正道とは、真理に合った正しい生き方を八つに分けて教えられたものです。六波羅蜜とは菩薩の修行をするものの行いについて六つの標準を示したものです。以下の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) それぞれの意味にあう八正道を書きなさい。(1×8)

- 「 」 ○自分中心のものの見かたをすてて、正しい公平な仏の見かたに従うこと。
- 「 」 ○「意の三悪」を捨てて、すべてを正しく、仏のような大きな心で考えること。
- 「 」 ○「口の四悪」のない、正しいものの言い方をする事。
- 「 」 ○日常の行動が仏の戒めになつた(「身の三悪」のない清らかな日常)正しいものでなければならぬということ。
- 「 」 ○衣食住その他の生活必需品を正しく求めるということ。
- 「 」 ○常に正しい行いをして、怠ったり、わき道へそれたりしないということ。
- 「 」 ○仏と同じ正しい心をもって修行せよということ。
- 「 」 ○心がいつも仏の教えに決定して、終始一貫して正法を行いつづけること。

(2) 六波羅蜜を正しく順番に漢字で書きなさい。(1×6)

[] [] [] [] [] []

いかがでしたか？

学生はしっかり覚えていました。